

#### (15) 生物学教育におけるICT活用の授業モデル

サイバー・キャンパス・コンソーシアム生物学グループは、22年7月、9月、12月、23年2月の4回開催し、学士力の実現に求められるICT活用の授業モデルの検討を行った。

生物の多様性と健康、医療、環境、エネルギーなどの諸問題に適切に対応できる能力を身に付けさせるため、他の専門科目との連携の中で、卒業までに生物の知識と技能が実践できる授業デザインを2例とりあげることにした。

一つは、身の回りの自然や自分自身の生活と関連づけて環境問題や生物学が基礎となっている応用科学の有効性や問題点などについて、グループでの学習成果をソーシャルネットワーク上で発表し、多面的な意見を踏まえて、学びを深化させる授業モデルとした。

二つは、生物や環境に関連する問題について考える能力を身に付けさせるために、生物学関連分野以外の自然科学、人文社会科学と連携した科目（生命倫理、法学や哲学、宗教学、社会学等）の中で関連づけを行い、卒業までに生物学的視点で社会に関与できることを目指した授業モデルとした。